

予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：医療整備対策費

事業名 医学的リハビリテーション施設設備整備費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 医療整備課 医療企画係 電話番号：058-272-1111(内3236)

E-mail：c11229@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 3,328 千円 (前年度予算額： 2,402 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	2,402	0	0	0	0	0	2,402	0	0
要求額	3,328	0	0	0	0	0	3,328	0	0
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

医学的なりハビリテーションは、慢性の整形外科領域の患者のみならず、脳卒中など重篤な患者が社会復帰を目指すためにも必要不可欠な治療である。

(2) 事業内容

地域住民のりハビリテーション施設の機能充実を図るため、医学的りハビリテーション施設が行う医療機器の整備に対して補助を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

補助率 1／3

※平成26年度まで、国庫補助(医療提供体制推進事業費補助金)

※現在は「地域医療介護総合確保基金」を活用

(4) 類似事業の有無

・類似事業なし

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	3,328	医学的リハビリテーション機器整備に関する補助
合計	3,328	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

（１）各種計画での位置づけ

岐阜県保健医療計画（第8期）
第3部－第2章－第2節－今後の施策

（２）国・他県の状況

医学的リハビリテーションの設備整備に対する補助については、（対象となる施設が無い県を除き）各都道府県で実施されている。

（３）後年度の財政負担

整形外科領域の慢性疾患、脳卒中などの急性期疾患からの回復医療の体制を維持するため、引き続き、支援していく必要がある。

（４）事業主体及びその妥当性

リハビリ医療提供体制の確保は、市町村域を超えて、より広域的に取り組むべきものであること、また、保健医療計画上も医学的なりハビリの重要性を明記していることから、県が補助を行うことは妥当である。

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

医学的リハビリテーション施設に必要な医療機器の購入経費を補助することで、医学的リハビリテーション提供体制の充実を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

リハビリ医療体制を維持、継続していくための支援事業であり、指標化にはそぐわない。

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	取組内容：医学的リハビリテーション施設設備整備事業 補助3件 中濃厚生病院（トレッドミル）、揖斐厚生病院（クロスステップ）、西美濃厚生病院（起立練習傾斜ベッド（チルトテーブル）） 成果：リハビリテーション機器の新規導入・更新にかかる経費を補助することにより、医学的リハビリテーション提供体制の充実が図られた。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和5年度	取組内容：医学的リハビリテーション施設設備整備事業 補助1件 中濃厚生病院（ニューステップ） 成果：リハビリテーション機器の新規導入・更新にかかる経費を補助することにより、医学的リハビリテーション提供体制の充実が図られた。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和6年度	取組内容：医学的リハビリテーション施設設備整備事業 補助1件 中濃厚生病院（ニューステップ、筋力計、多機能リハビリ機器） 成果：リハビリテーション機器の新規導入・更新にかかる経費を補助することにより、医学的リハビリテーション提供体制の充実が図られた。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)</p> <p>3: 増加している 2: 横ばい 1: 減少している 0: ほとんどない</p>	
<p>(評価)</p> <p>3</p>	<p>リハビリテーション患者の数は年々増加傾向にあり、受入れ体制強化として、設備整備補助は必要である。</p>
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)</p> <p>3: 期待以上の成果あり</p> <p>2: 期待どおりの成果あり</p> <p>1: 期待どおりの成果が得られていない</p> <p>0: ほとんど成果が得られていない</p>	
<p>(評価)</p> <p>3</p>	<p>本補助事業により、リハビリテーション施設における設備環境は、着実に改善されている。</p>
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)</p> <p>2: 上がっている 1: 横ばい 0: 下がっている</p>	
<p>(評価)</p> <p>2</p>	<p>対象医療施設では、医療機器の調達にあたり、入札を実施するなど、経費節減に取り組んでおり、効率化が図られている。</p>

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項
急性期、回復期、維持期といった病期に応じた治療、リハビリテーションを切れ目なく実施できる体制が必要である。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

地域住民のリハビリテーション施設の機能充実を図るとともに、医療機関相互の密接な連携と機能分担の促進、医療資源の効率的活用を図る。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	